

名古屋市将来人口の推計方法

(1) 推計期間

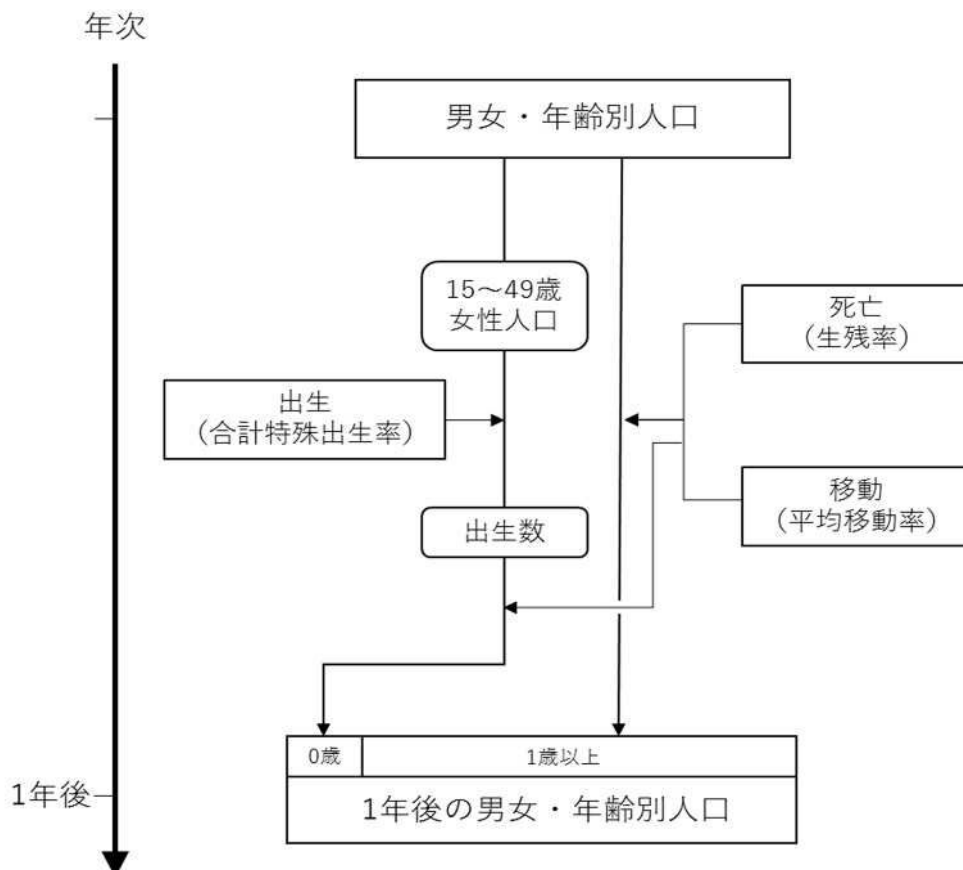
推計期間は、令和5年を基準年とし、令和22年時点までの各年の推計を行った。

(2) 推計方法

本推計では、コーホート要因法により、名古屋市の将来人口を推計した。コーホート要因法とは、男女・年齢別の人口集団に対して、加齢に伴って生ずる経年の変化を、その要因（出生、死亡、社会移動）ごとに個別に集計し、その結果を合成して将来の人口を求める方法である。

(3) 推計フロー

推計のフローは以下のとおりである。



(4) 推計に用いたデータ・解説

基準年人口	・令和5年10月1日推計人口（名古屋市） （推計人口とは令和2年国勢調査（総務省）を基礎として毎月の住民基本台帳の移動数を加減して推計したもの）
将来の出生率	・日本の将来推計人口（令和5年推計）詳細結果仮定値表（国立社会保障・人口問題研究所）合計特殊出生率の推移に対して、平成30年～令和4年合計特殊出生率（名古屋市）と平成30年～令和4年人口動態統計合計特殊出生率（厚生労働省）の相対的格差を乗じることで算出
将来の出生性比	・令和4年版名古屋市健康福祉年報〈人口動態統計編〉平成30年～令和4年5年間の出生性比を平均して算出し、その数値が将来にわたり一定で推移するものとする
将来の生残率	・日本の将来推計人口（令和5年推計）詳細結果仮定値表（国立社会保障・人口問題研究所）男女年齢別将来生命表に対して、第23回（令和2年）生命表と令和2年都道府県別生命表名古屋市（厚生労働省）の相対的格差を乗じることで算出
将来の移動率	・平成25年10月から令和5年9月における男女、年齢別平均純移動率（名古屋市）が将来にわたり一定で推移するものとする

なお、この推計は令和11年に更新する予定です。